

〈学習の導入〉

・ 「かいがら」のところ、家に帰ってから読んでみた人いますか。(児童三人挙手。)

・ いいね。おうちに帰ったら読んでみるとよく分かるからね。読んでなくても大丈夫です。

・ (昨日読んだ人、今日読む人の確認と指示。) あゆむさんは明日ね。

C 知ってるよ。

T 読む人は立ってゆっくり読んでくださいね。聞く人は、本を持ってよく聞いてください。

(1ゆい 2ことな 3けいご 4さき 5るか 6ゆり。途中「よし、いいね。」と声を掛けながら読ませる。)

T よし。本を静かに置いてください。よかったね。筆入れはしまつて。(机が片付かない児童のところへ行つて指導。) 今日の六人もはじめてなのにゆっくり大きな声で読めました。

T さあ、これは。(と箱の絵を板書。) この中に、きれいな物を入れて持ってきたのはだれ。

C くまさんです。

T この中に入っているもの。きれいな貝がら。その中でもとっても大事なものが二つあったけど、分かるか。

C 桃色の貝がらと、縞模様の貝がら。

T きつとどっちもすごいんだよ。これをくまの子はうさぎの子に見せました。どうして見せたと思う?・・・手の挙げ方がいいね。

C どれが好きって聞いたから。

T 聞いたってことはどうしようと思ってるの?

C うさぎの子にあげようと思ってるから。

T うさぎの子にあげようと思ってるのはなぜ?

C 桃色の貝がら。

T どうしてあげたい?

C いいお友達。 C 貝がらよりもっと大事な友達。

C なかよし。 (T いいこと言うなあ。・・・とほめながら聞く。)

C この子は白い貝がらが好き。しかもようも好き。くまの子も同じものが好き。・・・

T よく読んでよく分かっているな。

C 桃色の貝がらをあげようと思ったけど、うさぎの子が縞模様好きと言った。

C どっちもあげればよかったんじゃない。

T どっちもあげられ・・・? C なかった。

T どうしてあげられなかったか。書いて勉強します。

(書くところを指示する。)

T もう少しで終わる人があるから待っててね。・待ちながら聞いて。みなさんの字、大きくてしつかり書いてあっていいですね。ますの中に大きくて濃い字が書けるといいんだって。



T 書き終わった人は鉛筆をノートにはさんで、閉じてください。その上に教科書も閉じて重ねてください。そしてちょっと、これを見ててください。(板書に目を向けさせる。)

T よしできました。みんなできました。すごいね。教科書とノートはそのまま机の中にしまえます。すごいね。

みんな書き終わったけど、先生だけサービスで書くから、見ててください。(四行ほど書き足す。)

T よく見てたね。一緒に読みます。最初は声を出さずに読みます。ここでも姿勢が大事なんだよ。

*続いて指音読させる。

T 上手だな。もう一回読もうか。ちょっとスピード上げてみよう。(鞭に合わせるように、声を掛けながら。)

T 分からない言葉があるか。

C ありません。

T 「これ」ってどれ。

C 縞模様の貝がら。

T どうですか。 C いいです。

T だれが言った言葉か確かめようね。「うみで・・・」は。

C くま。

T 「きれいな・・・」は。 C うさぎ。

T 「うさぎちゃん・・・」は。 C くま。

T 「これよ。これが・・・」は。 C うさぎ。

T 「ああ、ぼくと・・・」は。 C くま。

T くまの子が、うさぎの子が縞模様の貝がらが好き、と分かったのはどこ？

C (あゆむ)一ページ。

T ことなさんは。

C 真ん中らへんの、「うさぎちゃん・・・」のところで、「これよ・・・」のところ。

T ここで、うさぎが好きなのが縞模様と分かったんだ。その前は分かっていなかったよ・・・その後ろ。後ろを二つに分けよう。だれのことか(で分ける)。

T くまの子が、うさぎちゃんが縞模様がすきと分かったのは？番号を付けるね。(①・②・③と板書。)何番？

C ②番。

T うさぎの子は何したの。

C 言った。「これがすき。」って。

C 言いながら、人差し指を当ててみた。

T やったことは何かというと。一つは。 C 言った。

T もう一つは。 C 指した。

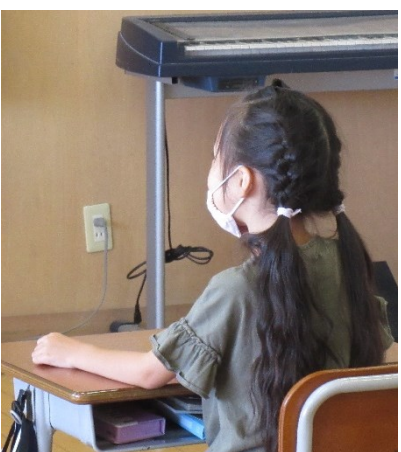
T これはばらばらにやったの？

C 一緒にやった。

T くまの子は分かりました。くまの子があげようと思っていたのは。

* 10:00

* 指黙読



C 桃色。

T この中で、桃色あげようと思っていたのは。

C ①番です。

T ここまでは、桃色の貝がらあげようと思っていたんだよ。でもここから後ろは、あげられなくなっちゃった。それでくまの子どうしたの。

C あせった。

T あせったね。それでくまの子どうしたの。

C 考えた。

C だから、じぶんで使った。

T 最後は自分で使ったんだ。その通りです。ここで、あげられないって分かったら、くまの子どうしたの。この黒板の中で考えたらどうなの。

C いっしょうけんめい考えました。

T そう。どういう風に考えたかっていうと。

C いっしょうけんめい。

T 考えたのはいつだった。

C 夜。 C 夕方から夜まで。

T そして、最後はどうしたのかな。どっちをあげたの。

C 縞模様の貝がら。

T じゃ、読んでおしまい。

* 指音読

T くまの子の、うさぎの子の気持ちが分かったとき、どう思ったの？

どこに書いてありますか。

C ②番です。

T ここにはくまの気持ちはないぞ。

C ③番です。「ああ、ぼくといっしょだ。」のところですよ。

T どこに気持ちが一番出てると思う。

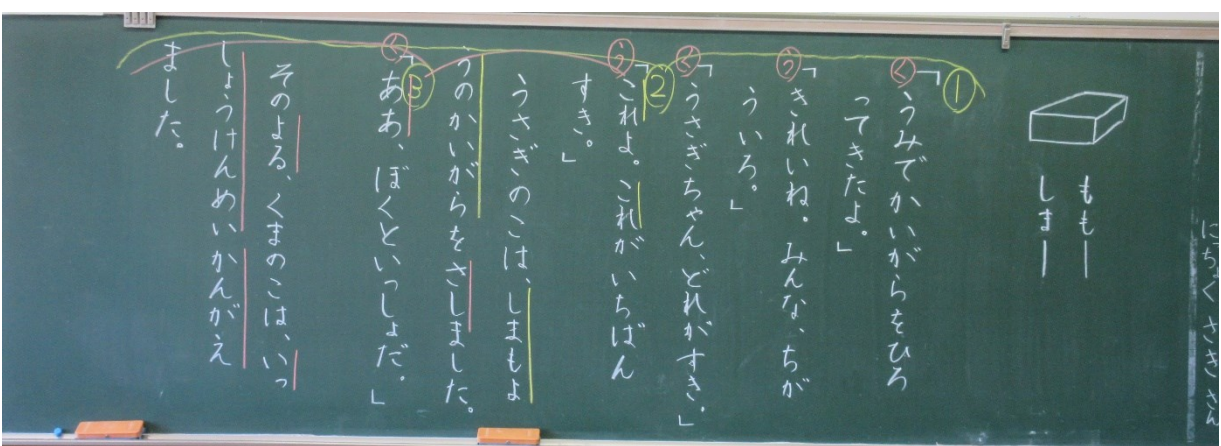
C

T ぼくが聞いたのは「ああ、ぼくといっしょだ。」中でどれ(ということ)。平仮名二つ。

C 「ああ」

T どういう「ああ」か、考えてみてください。明日は、次の日のことを考えようね。

*自由に発言する児童に対して、繰り返し「手を挙げて答えよう。」と指導する。



*余韻を感じさせる。

*明日の学習について伝えて終わる。